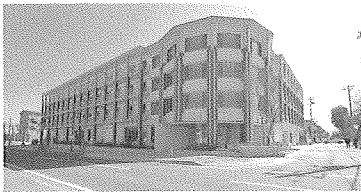




好調に推移するHCMの  
住宅型有料老人ホーム「アミカヴィラ稲毛」



## 全

国64カ所で介護事業を展開する(株)HCM(東京都港区)がマネジメントバイアウト(MBO)を実施し、経営体制の強化を図りつつある。同社の山崎明敏社長によると、「介護業界でのMBOは初」という。

MBOを実行することで、10月をめどに、現経営陣が同社の発行済み株式の4割超を保有することになる予定で、「資本効率の向上とともに、より迅速で柔軟な経営判断が可能になる」(同社)と期待する。プライベートエクイティ投資会社の(株)J-STAR(東京都千代田区)が管理・運営するJ-STAR投資事業有限責任組合が資金提供に協力し、機関投資家などから同社の株式を取得した。

MBOを通じて経営体制の強化を図ったHCMが目指すのは、「国内介護事業のM&Aと海外進出」(山崎氏)による事業拡大である。

山崎氏は、「日本の介護事業は制度リスクという大きな変動要因を抱え、2025年を境に高齢者人口の伸びも止まる。経営基盤を磐石にするためには、M&Aも有力な選択肢の一つ」と語り、在宅介護から有料老人ホーム事業までを視野に入れたM&Aを模索する。

さらには、「日本以上の急激な高齢化と高齢者人口の増大が予測される中国、台湾、香港などアジア各国、米国などへの事業進出を計画中」(同)としており、他社に先行して海外展開を仕掛けていく構えである。

HCM <http://www.hc-m.jp/>

HCMが海外進出、M&Aをにらんだ  
MBOを実行